

他校との交流深める

市内中学生交流会に19人



ビブリオバトルで本を紹介する生徒ら
＝ 8 日、新宮市立城南中学校

新宮市教育委員会は8日、市立城南中学校（中田善夫校長）で中学生交流会を開いた。市内5中学校の生徒ら19人が参加。学校と自己紹介、ビブリオバトルなどで協議し、交流を深めた。

市内の中学校で生徒会活動を行う生徒らが、より良い集団生活や人間関係を築くことを熟考しながら話し合うことで社会に参画する態度や自治的な能力の育成を目指す。今年で4回目となり、城南、緑丘、光洋、熊野川、高田が参加した。

各学校が混合した五つの班に分かれて生徒らは

自己紹介と緊張をほぐすための「ヘリウムリング」や「フープくぐり」に取り組み、どうすれば時間を短縮できるかを話し合った。学校紹介も行われ、生徒らは自分たちが通う学校の魅力を発表した。ビブリオバトルでは3分間で各生徒らが薦める本を紹介。投票や挙手で各班の代表を決め、6人が決勝に進み立石真也君（熊野川中3年）が優勝した。

2回目の参加となった溝口心さん（高田中2年）は「他の学校や生徒たちとの交流を持てると思いついて何事にも積極的になれれば」。中田校長は「他校の生徒たちと交流が持てる貴重な時間。この交流会で進学後でも共通した思いを持つきっかけになると思っているので今後も続けてもらえれば」と話していた。

（榮本康人）

満開に 熊野市の丸山千枚田

棚田のあぜ道や斜面に鮮やかに咲いた真っ赤な花を求めて、見学者やカメラマンが訪れている。北会長（83）は「今年は咲き始めてから台風もなく倒れることもなかったのできれいに咲いた。日本一の千枚田をヒガンバナの名所にと、先代会長から引き継ぎ、棚田保存会とも協力してやってきた。まだ場所によってはらつきもあり、まだまだ増やしたい」と話している。

（早山信武）

本棚の棚
和町の
開にな
手は条
よく咲
富士夫
グが20
途中
から復
1万本